

# 立山の大気は街の中と 比べるとかなりきれい

図2-7は2007年9月～10月の一酸化窒素( $\text{NO}$ )、二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )、窒素酸化物( $\text{NO}+\text{NO}_2$ )の濃度の1時間値(1分毎に測定した値を1時間毎に平均)をグラフにしたものです。立山に登る人が集中する7時から9時頃にかけてと下山する人が集中する夕方4時～6時にかけて高いピークが出ます。このデータから一日平均値(一時間値を1日毎に平均)を求め、一日平均値からさらに月平均値を求めると、9月の二酸化窒素、窒素酸化物の平均濃度は、それぞれ、3.1 ppb、4.8 ppbでした。これは、富山市市街地(芝園)での同じ月の値(それぞれ、10 ppb、13 ppb)と比べて1/3程度の濃度でした。また紅葉シーズンの10月についても、美女平の二酸化窒素、窒素酸化物の平均濃度は、それぞれ、3.8 ppb、6.1 ppbで、富山市市街地での値(それぞれ、13 ppb、18 ppb)と比べて1/3程度の濃度でした。

図2-8は硫黄酸化物(二酸化硫黄)の一時間値の濃度をグラフにしたもので、観測期間は窒素酸化物と同じです。美女平での二酸化硫黄の月平均濃度は9月が0.4 ppb、10月が0.3 ppbで、窒素酸化物濃度と比べると濃度は1桁低い値でした。また、同じ年の9月、10月の富山市市街地での二酸化硫黄の平均濃度(それぞれ、3 ppb、3 ppb)と比べて1/10の濃度でした。図2-8で、10月1日～2日にかけてやや高いピークが見られますが、美女平以外から運ばれてきたものと思われる。

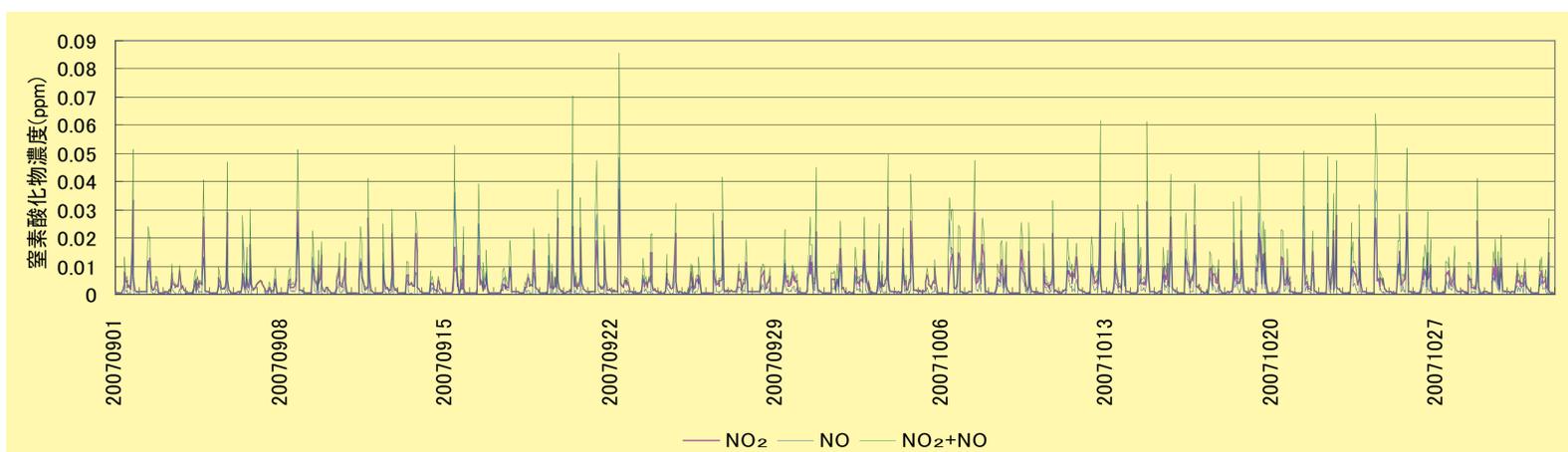


図2-7 美女平で観測した窒素酸化物濃度(2007年9月1日～10月31日)の一時間値のグラフ

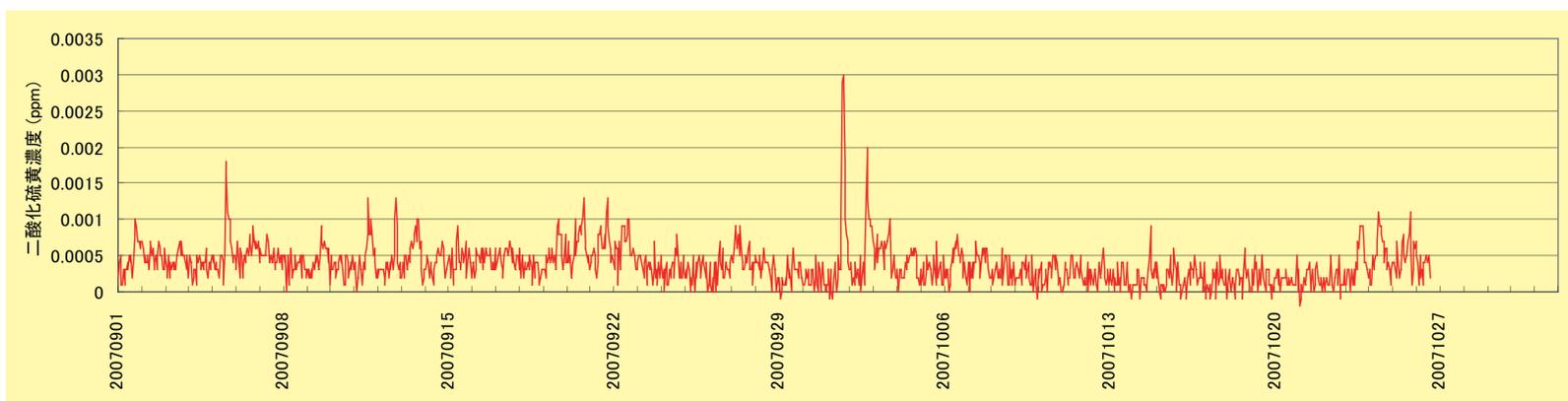


図2-8 美女平で観測した二酸化硫黄濃度(2007年9月1日～10月31日)の一時間値のグラフ

**美女平での大気観測** 電気が利用できる美女平で大気中の窒素酸化物や硫黄酸化物の濃度を測定しました。機材を置いた建物が急勾配の坂の近くにあり、風向きによっては、バスの排気ガスを、大気にほとんど薄められない状態で、直接計測器に吸い込んでしまうような場所なので、立山有料道路の通行が可能な日中(6時～19時)の計測値は美女平全域の環境ではなく立山有料道路の道路脇のみの環境を指標しています。夜間のデータは通行車両がないため、美女平全体の環境を指標します。

## 参考文献

富山県立大学研究資料

平成20年版 富山市の環境データ編